

2009年度事業計画について

当社では昨年5月に「2008中期経営計画 Progress2020」を策定し、天然ガス転換完了後の持続的成長の実現に向け、安全高度化の推進、天然ガスの普及拡大、天然ガス供給基盤の整備等の施策を進めてまいりました。

昨年後半からの経済状況の急速な悪化、石油製品価格の下落など、当社事業を取り巻く環境については予断を許さない状況にありますが、一方では低炭素社会を目指す社会の動きや省エネ志向の高まりから、とりわけ石油依存度が高い北海道において、環境性に優れた天然ガスが普及拡大する余地は大きいものと考えております。

このような認識のもと、中期経営計画の2年目となる2009年度につきましては、北見地区の天然ガス転換の完遂、お客さまへのワンストップサービスを実現する地域総合チャネルの整備、石狩LNG基地建設工事の推進など、計画達成に向けた諸施策を引き続き着実に進めてまいります。

1. 2009年度の重点課題

重点課題1 安全高度化の着実な推進

①北見地区天然ガス転換の完遂

- ・北見地区の都市ガスについて、石油系原料による製造ガスから一酸化炭素を含まない天然ガスへの転換を現在進めています。本年3月9日から作業を開始しており、8月7日に完了する計画です。
- ・北海道内の都市ガス事業者が天然ガス転換を共同で進める「北海道ブロック熱量変更共同化事業」につきましても、本年12月にすべて完了する計画です。

②経年管対策の推進

- ・北見地区のねずみ铸铁管については昨年11月に対策をすべて完了しました。その他の地区については、2011年度の完了を目標に対策を進めていきます。
- ・保安上重要とされている建物の白ガス経年埋設内管対策についても、2015年の完了を目指し、引き続き取り組みを進めていきます。

③安全型消費機器・設備の普及

- ・下取り制度の活用や各種キャンペーンの実施など、不完全燃焼防止装置のない半密閉式の湯沸器・風呂釜を対象に安全型機器への買い替え促進に取り組み、今年度末までに対策完了率70%、2012年度までに対策完了率概ね100%を目指します。

④地震等非常災害対策の推進

- ・地震等の非常災害発生時の2次災害防止および早期復旧を目的に、ガス導管網の被災状況把握と被災地区のガス供給停止を速やかに行えるよう、2008年度からガバナ遠隔監視制御システムの整備に取り組んでいます。なお、全システム運用開始は2011年を予定しています。

重点課題2 地域深耕営業の強化

①地域総合チャネルによる販売・サービス体制の再構築

- ・ワンストップサービスの提供によるお客さまサービス向上、家庭用・小口業務用を中心とする需要開発営業の強化を目的に、地域総合チャネルによる新たな販売・サービス体制を札幌地区と函館地区で2010年1月からスタートします。
- ・小樽地区についても札幌地区と同様の体制を早期に構築するため、準備を進めていきます。

②天然ガス転換完了に伴う要員再配置による営業体制の強化

- ・北見地区天然ガス転換および当社から調整技術員等を派遣している道内他事業者の天然ガス転換が年内に完了することから、2010年1月には全社要員の再配置を実施し、営業体制を強化します。

③省エネ機器・システムの開発・普及

- ・省エネ型給湯暖房機「エコジョーズ」、「ファクト」の普及に引き続き努めます。
- ・家庭用コージェネレーションシステム「エコウィル」については、太陽光発電と組み合わせた「W 発電」を積極的に提案することで、他の家庭用エネルギーシステムとの差別化をはかります。
- ・次世代の家庭用コージェネレーションシステムである「エネファーム」(家庭用燃料電池)の寒冷地仕様機については、本年度から市場へプレ導入(2009年度10台)し、早期の本格販売に向けて体制を整備します。

■エコジョーズ販売台数

	2008年度 (見込み)	2009年度 目標
エコジョーズ	1,639	1,750

※市販品を含む新築と既築(燃料転換)の合計台数

重点課題3 長期的な視点に立った天然ガス供給基盤の確立

①石狩 LNG 基地建設の推進

- ・2012年12月の稼動を計画している石狩 LNG 基地の建設工事については、建設地の地盤改良工事を昨年実施しました。2009年度は本基地のメイン設備となる LNG タンクの建設工事に着手します。

②LNG 基地稼動までの安定供給体制の整備

- ・石狩 LNG 基地稼動までの冬期需要ピーク時の安定供給を確保するため、当社函館みなと工場を増強し、同工場で受け入れた LNG 活用による札幌圏の天然ガス供給体制の強化をはかります。2010年冬の稼動に向け、年内に函館みなと工場の増設工事に着手します。

重点課題4 グループ構造改革の推進

エネルギー事業への経営資源集中による営業体制強化と業務・機能の統合による生産性向上を目的に、グループ全体における事業領域の再編と業務改革を進めます。

2. ガス販売量計画

(千m³、46MJ/m³換算)

		2008 年度(見通し)	2009 年度計画	増減
お客さま件数		563,564	559,807	-0.7%
ガス販売量	家庭用	109,555	109,134	-0.4%
	業務用	287,028	321,920	12.2%
	合計	396,583	431,054	8.7%
	他社への卸供給	0	3,468	-
	総合計	396,583	434,522	9.6%

3. 設備投資計画

(百万円)

	2008 年度(見通し)	2009 年度計画	主な内容
土地・建物	4,554	30	
製造設備	2,791	1,888	石狩LNG基地建設 等
供給設備	7,684	6,178	導管網整備 等
業務設備	244	144	
合計	15,273	8,240	

以上